

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2019
July
No.1089

7月

表紙

開校50周年を記念し開催された
本別中央小学校運動会応援合戦



Pick up

- ✿ 7・15本別空襲 この日を忘れない
- ✿ 個性あるふるさとづくり寄付金運用状況
- ✿ 運動会・体育祭が行われました
- ✿ 地域おこし協力隊が行く **Part 9**

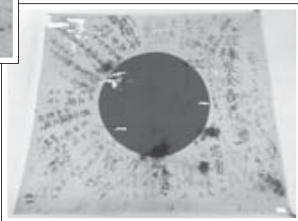
資料館企画展 7月15日 本別空襲を伝える ～本別から戦争を語る～



ノモンハンにて



日鉄室蘭・鑄造工場



寄せ書き日の丸



防寒帽子

令和元年、21回目を迎える本別空襲展

1945（昭和20）年7月15日に起こった「本別空襲」とそれまで本別の人々が各地で体験した戦争の事実を資料で語り継ぎます。

また、本別と同時期に被害を受けた「鉄のまち・室蘭」の艦砲射撃と人々の生活を紹介し、平和の大切さと命の尊さを未来へと伝えます。

期 間 **7月2日（火）
～8月31日（土）**

開館時間 **午前9時～午後4時**

（土日は午後3時まで）

※月曜・祝日休館

※ただし、7月15日（月・祝）は開館します

入場無料

ところ **歴史民俗資料館**

【展示内容】

- ◆昭和20年7月15日空襲を受ける本別
- ◆本別の人々が語る各地での戦争
- ◆戦争と子供たち
- ◆室蘭空襲

～艦砲射撃と市民生活～

本企画展初登場！

本別高校ミニ移動展

と き **7月13日（土）～14日（日）**

ところ **本別高校（本高祭会場）**

今年も「本高祭」会場で、生徒や来校者の皆さんに同校の大切な歴史でもある「本別空襲」を伝えるため、歴史民俗資料館の資料の一部展示します。74年前の空襲によって殉職された当時の山内教頭や、かつての校舎の写真など、本別高校にまつわるミニ展示です。「本高祭」ご来場の折にはどうぞご覧ください。



昨年のミニ展

企画展・移動展の問い合わせ 歴史民俗資料館 ☎22-2141（内線410）・図書館 ☎22-5112



空襲により燃え上がる本別市街（中心部の3分の2が焼失）

平和を願い語り継ぐ

米軍機の爆撃により三日三晩燃え続けた本別の街は焦土と化し、40人が死亡、279戸が全焼、被害者総数は1915人で、その被害は北海道で函館、室蘭、根室、釧路に次いで5番目、十勝では最大といわれています。それから74年が経過し、今や町内に戦争の傷跡を見つけるのも難しくなっています。私たちは、空襲の歴史を忘れず、この悲惨な戦争を繰り返さないように後世に伝えていかなければなりません。本別空襲のあった7月15日には空襲で犠牲となられた人や幾多の戦役で戦死された人のご冥福をお祈りし、二度と戦争を起こさないことを誓うため「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が行われています。そして7月15日を中心に平和を語り継ぐ事業が開かれています。

太平洋戦争末期の1945（昭和20）年7月15日、本別町を襲った町史最大の惨事「本別空襲」。この日の深い悲しみと、そこから立ち上がり復興に全力を注ぎ現在の町を築き上げた先人たちの努力を、私たちは忘れてはいけません。

7月15日 本別空襲の日この日を忘れない
平和を語り継ぐための事業を展開します

本別町戦没者・戦災死没者追悼式

と き **7月15日（月・祝）午前10時**

ところ **ふれあい交流館（向陽町）**

今年も「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が執り行われます。

本別町では、日清・日露・第二次世界大戦の戦役で299人が戦死され、本別空襲において40人の尊い命が奪われています。

追悼式では、黙とう、追悼のことは、献花などにより犠牲者のご冥福をお祈りし、平和への誓いを新たにしています。町民の皆さんの参加をお願いするとともに、黙とうと呼び掛けるサイレンが午前10時05分ごろに吹鳴されますので、一緒に黙とういただきますようお願いいたします。



昨年の追悼式

追悼式の問い合わせ 保健福祉課社会福祉担当（総合ケアセンター内） ☎22-8520

皆様からのご厚意 大切に使用させていただきます

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例
平成30年度（平成30年4月～平成31年3月）
の運用状況をお知らせします

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例は、個性や魅力にあふれ、全国に発信できる「ふるさとづくり」を進めるための事業等に活用するべく平成18年度に創設され、制度運用から今年で13年が経過しました。
この間、趣旨や目的をご理解いただき、絶大なご支援を賜りました個人・団体の皆様に対し心からお礼を申し上げます。
平成30年度に寄付を頂いた口数は1万1482口、総額5741万円で、これまでの累計は、口数4万3538口、総額2億1769万2002円となっております。
平成30年度の運用実績といたしましては、「福祉でまちづくり推進事業」と「町長が必要と認める事業」として、「保育料独自軽減事業（施設型給付費）」に2910万円、「発達支援センター車両購入事業」に140万円、「学校給食費多子世帯軽減事業」に108万7千円、「体力増進センター卓球台更新事業」に44万9千744円、「本のまち・夢プラン事業」として、イラストレーターで絵本作家の永田萌氏を招いての「本のまち夢づくり講演会」を開催し35万円、合計3233万8千744円の寄付金を活用させていただきました。



保育料独自軽減事業



本のまち夢づくり講演会



体力増進センター卓球台更新事業

国民年金 コ－ナ－

『繰上げ・繰下げ
請求』で、受給開始
時期を調整できます

老齢基礎年金の支給開始年齢は、原則65歳ですが、本人の希望により60歳から65歳になる前に繰上げて受給したり、66歳から70歳になる月までの間に繰下げて年金を受給することができます。
★早くもらう（繰上げ請求）
60歳から64歳の間で繰り上げて受給することができます。しかし、繰り上げる年齢によって一定の割合で減額された年金額を受給することになります。
※繰上げの減額率＝0.5%×繰り上げた月数



○繰上げ請求をする場合の注意点
・減額率は65歳になっても変わりません
（一生減額された年金額を受給することになります）
・一度請求すると、取り消しや変更はできません
・任意加入中の人は、繰上げ請求できません
・寡婦年金を請求することができなくなります

令和元年度につきましては、『福祉でまちづくり事業』と『町長が必要と認める事業』として、「保育料独自軽減事業（施設型給付費）」に3800万円、「学校給食費多子世帯軽減事業」に150万円、「ドローン購入事業」に37万8千円、『本のまち・夢プラン事業』として、『本のまち夢づくり講演会』開催の事業費に35万円、合計4022万8千円の寄付金を活用させていただきました。
これからも、より良いまちづくりのために寄付金を有効に活用させていただきたいと考えておりますので、「個性あるふるさとづくり」に多大なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

分野別寄付の内訳 平成30年度分（平成30年4月～平成31年3月）			
寄付項目	寄付口数	寄付金額（円）	項目比率（%）
福祉でまちづくり推進事業	4,248	21,240,000	37.0
消費者と生産者を結ぶ元気な農業推進事業	1,672	8,360,000	14.5
自然との共存・環境保全推進事業	1,618	8,090,000	14.1
平和祈念事業 平和教育に関する事業	110	550,000	1.0
本のまち・夢プラン事業	365	1,825,000	3.2
町長が必要と認める事業	3,469	17,345,000	30.2
合 計	11,482	57,410,000	100.0

累計分（平成18年度～）			
寄付項目	寄付口数	寄付金額（円）	項目比率（%）
福祉でまちづくり推進事業	16,100	80,500,000	37.0
消費者と生産者を結ぶ元気な農業推進事業	6,737	33,685,002	15.5
自然との共存・環境保全推進事業	6,038	30,190,000	13.8
平和祈念事業 平和教育に関する事業	947	4,735,000	2.2
本のまち・夢プラン事業	2,344	11,722,000	5.4
町長が必要と認める事業	11,372	56,860,000	26.1
合 計	43,538	217,692,002	100.0

地域別寄付者数 平成30年度分（平成30年4月～平成31年4月）			
寄付者の お住まい	寄付者数（件）	地域別 比率（%）	
	うち団体		
本別町内	6	0	0.2
道内他市町村	227	0	6.4
道外他市町村	3,305	0	93.4
合 計	3,538	0	100.0

累計分（平成18年度～）			
寄付者の お住まい	寄付者数（件）	地域別 比率（%）	
	うち団体		
本別町内	118	16	1.1
道内他市町村	732	2	6.7
道外他市町村	10,086	9	92.2
合 計	10,936	27	100.0

・繰上げ請求した後に、遺族厚生年金や遺族共済年の受給権が発生しても、65歳まではどちらか一方の年金しか受け取れません（65歳からは、両方とも受け取れます）
・繰上げ請求した後は、障害基礎年金や障害厚生年金を請求できません
★後でもらう（繰下げ請求）
65歳到達時に老齢基礎年金の請求を行わず、本人の希望により66歳到達月以降に繰り下げて請求することで、増額された年金額を受給できます。
※繰り下げの増額率＝0.7%×繰下げた月数
○繰下げ請求をする場合の注意点
・増額率は70歳到達時が上限となります
・65歳に達した日から66歳に達した日までの間に、他の年金（遺族・障害基礎年金、遺族・障害厚生年金）を受ける権利がある場合は、繰り下げて請求することはできません
・66歳に達した日より後に他の年金を受ける権利が発生した場合は、65歳にさかのぼって請求するか、その時点で繰下げ請求し、増額された年金を受給するかのどちらかを選択することになります

お問い合わせ
総務課財務担当
022-8120

常広年金事務所
022-8120
詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
022-8120
日本年金機構のホームページは
<https://www.nenkin.go.jp/>

豪華景品！ディスコン大会



健康スポーツ週間事業

ほんべつ健康ウイーク2019



オープニング&早朝ラジオ体操



水中運動講習会



メタボ予防改善運動

運動の実践により健康な心と体を養う活動強化週間として、「ほんべつ健康ウイーク2019」(町、教育委員会主催)が5月27日から6月1日までの1週間、町内全域で開催されました。

無料解放された 体育施設を 2,195人が利用

町民の皆さんがスポーツや運動に気軽に参加してもらい、運動の日常化に向けた健康のきっかけづくりの取り組みとして、今年で3回を迎えた「ほんべつ健康ウイーク」。期間中は、屋内外すべての体育施設を無料開放したほか、町や体育協会などが、町内の各施設を会場にスポーツにちなんだイベントを展開し、町内外から計683人がイベントに参加、計2,195人が体育施設を利用しました。主催事業として開催されたディスコン大会には、過去最多の28チーム136人が参加するなど、仲間たちと楽しみながら心地よい汗を流しました。その他、同ウイークの関連事業として、現在の街並みと昔の写真を比較しながら身近な歴史を体感する「マチプラ歴史ウォーキング」や産後子育て期の女性を対象にしたリフレッシュ講座も開催され、参加者たちは、運動を通じて体力向上や健康づくりに対する意識を高めました。

共催事業



ゲートボール大会

ふまねとガンパレーン体験会



柔道体験会

弓道体験教室



バドミントン体験会

バスケットボール体験交流会

関連事業



骨盤ケア

マチプラ歴史ウォーキング

ごみの出し方事例集!

ごみの分別方法が変更になってから3カ月が経ち、町民の皆さんからさまざまな問い合わせやご意見が寄せられています。今回は、その中から分別方法の間違いの事例や、今後注意してほしい事項について紹介します。

分別誤りの事例

燃やすごみに混ざっていたごみ

混ざったごみ	正しい分類
アルミホイル	燃やさないごみ
運動靴	燃やさないごみ
じゅうたん(滑り止め付)	燃やさないごみ
輪ゴム	燃やさないごみ
木製製品をそのまま木くずとして出す	解体して木くず そのままの場合燃やすごみ

プラスチック製容器包装に混ざっていたごみ

混ざったごみ	正しい分類
湿布のフィルム	燃やさないごみ
ストロー	燃やさないごみ
フリーザーバック	燃やさないごみ
プラスチック製品	燃やさないごみ
汚れたプラスチック	燃やさないごみ
ペットボトル	ペットボトル

金属類に混ざっていたごみ

混ざったごみ	正しい分類
ボールペン	燃やさないごみ

燃やさないごみに混ざっていたごみ

混ざったごみ	正しい分類
空きびん	びん類
陶器	危険ごみ

紙製容器包装・その他紙類に混ざっていたごみ

混ざったごみ	正しい分類
感熱紙	燃やすごみ
汚れた紙	燃やすごみ
レシート	燃やすごみ

缶類に混ざっていたごみ

混ざったごみ	正しい分類
塗装スプレー	スプレー缶

ペットボトルに混ざっていたごみ

混ざったごみ	正しい分類
ペットボトルのキャップ	プラスチック製容器包装

危険ごみに混ざっていたごみ

混ざったごみ	正しい分類
花火	燃やすごみ

※ 花火は水に浸してから出して下さい

★ごみを出すときの注意事項★

① ハンガーの出し方

ごみの出し方ガイドでは、プラスチック製容器包装になるものと、燃やさないごみになるものの2種類あります。見分けがつきづらく正しく出したのに回収されない事例がありました。**プラスチックハンガーは、「燃やさないごみ」に入れて出すようにしてください。**

② 陶器類の出し方

割れていなくても「危険ごみ」になります。割れているものは新聞紙などに包んでから透明な袋に入れてください。割れていない物はそのまま透明な袋に入れてください。袋には「**ケケン**」など、危険ごみとわかるように書いてください。

③ 生ごみの散乱防止対策

最近、キツネやタヌキが増えています。町中にも出没しており、生ごみを荒らす被害が出ています。生ごみを出すときは、**当日の朝に出し、ふた付きのバケツやごみステーションに入れるなど厳重な対策をしてください。**

※埋立・生ごみの指定ごみ袋は、6月末まで燃やすごみ・燃やさないごみの代用として使用できていました。7月からは代用できませんので、「燃やさないごみ」として出してください

問い合わせ 住民課 環境生活担当 ☎ 22-8128

本別中央小学校大運動会 6/8

スローガン「～全力～ 勝利を目指して 今日の自分をこえろ！」



4年生伝統 本別競輪

50周年玉入れ

なかよくころがせ！大玉リレー

1・2年生表現 バブリカ

組体操 決まった！

知恵と力の騎馬戦！

勝利を目指して

仙美里保育所・仙美里小学校大運動会 6/8

スローガン「全力ダッシュで令和初の優勝へ」



パラエティーレース2019

応援合戦

力の限り！

幼児も頑張りました！

保護者も力走！

認定こども園ほんべつ 6/15



修行を頑張った・忍者でござる

遊戯・ココ★ナツ

めざせ！お手伝いマスター

本別中学校体育祭 6/1

スローガン
「Break the wall
～限界なんて誰が決めた～」



いなばの黒うさぎ

笑いを誘った部活対抗リレー

息を合わせて大むかで競走

地域あげての運動会・体育祭が、6月上旬から中旬にかけて町内各小中学校や認定子ども園ほんべつで開催されました。
本番に向けて一生懸命練習を重ねてきた子供たちは、運動会のスローガンの下、学年の枠を越えて、個人・団体種目で勝利を目指して全力で取り組みました。グラウンドには、応援に訪れた家族や子供たち、先生の声援が響きわたり、地域の一大イベントを盛り上げました。
各校では、地域の人や先生などが参加する種目も用意されるなど、それぞれ趣向を凝らした内容に、グラウンドに集まった全ての人が楽しい一日を過ごしました。

地域の一大イベント運動会・体育祭。グラウンドでは、今年も元気いっぱいの子供たちの笑顔やたくさんさんの感動がうまれました。

運動会 体育祭 2019



うまく当たるか B.B.T. 21

力走！

YOSAKOIソーラン 令和元年

息を合わせて12人13脚

幼児の表現・全カビクトリー

タイヤ奪い

スローガン
勇足小学校「さあいこう 勝利の星へ 全力疾走」
勇足中学校「Trace 輝く自分たちが残す跡」

6/1

災害の避難情報を 5段階の「警戒レベル」でお知らせ

水害・土砂災害の状況や避難のタイミングを、5段階の「警戒レベル」を使ってお知らせすることになりました。

これは、洪水や土砂災害により甚大な被害を発生させた平成30年7月の西日本豪雨災害を受け、国の「避難勧告等に関するガイドライン」が見直され、住民が取るべき行動を理解しやすくなるよう変更されたものです。町が警戒レベル3以上を発令した地域にお住まいの人は、自ら命を守る意識をもって避難行動をお願いします。

避難情報等

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等	発令者 発表者
警戒レベル 5	命を守る最善の行動を取ってください！ 既に災害が発生している状況です。	災害発生の情報	本別町
警戒レベル 4	全員避難！ 避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所へ避難しましょう。	避難指示(緊急) 避難勧告	本別町
警戒レベル 3	高齢者等は避難！ 避難に時間を要する人(高齢者の人、障がいのある人、乳幼児等)とその支援者は避難しましょう。 その他の人は、避難の準備をしましょう。	高齢者等避難開始 避難準備	本別町
警戒レベル 2	避難行動確認！ 避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など	気象庁
警戒レベル 1	災害への心構えをしましょう。	早期注意情報	気象庁

※警戒レベルは順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります

今後、本別町では、防災行政無線などで情報発信する際に「〇〇地区に警戒レベル3、避難準備・高齢者等避難開始を発令しました。」などと放送するほか、ホームページ、緊急速報メール等のタイトルに警戒レベルを表記し、危険度が一目で分かるようにお知らせします。

★適時適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう★

問い合わせ 住民課 環境生活担当 ☎ 22-8128

地域連携室の役割とは

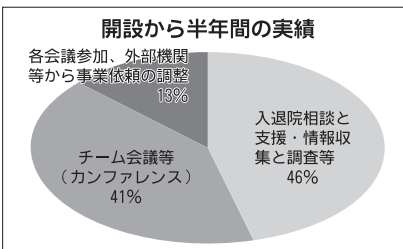
地域連携室は、町国保病院と他の病院間での転院や紹介による外来受診の際の窓口となり、スムーズな受診ができるよう連絡調整を行うところです。また、入院患者の経済的な悩みなどの相談やスムーズな退院ができるように調整を行います。これらの活動を通じて、在宅医療サービス事業者と情報を共有し、患者さんの状態に応じた適切なサービスの提供に取り組んでいます。



院内に設置した地域連携室

地域連携室の相談内容

・入退院の相談
他の病院からの転院についての相談や調整、外来患者の受診の相談、入院患者への退院支援などを行っています。
・退院支援
老人ホームやアメンティ本別と連携を強化し、スムーズな退院と施設入所ができるための支援を実施しています。また、退院後に自宅まで過す人には、地域包括支援センターと連携し福祉サービスの調整など、医師をはじめとしたチームで支援を行っています。
・チーム会議(カンファレンス) 参加
入院患者の治療や退院等について検討を行い、内容をもとに支援を行います。
・各種会議への参画
各種会議へ参画し、地域包括ケアシステム作りを行います。
・地域や関係機関との事業調整
地域(自治会等)からの依頼を受け、地域イベントへ参加し医療講話などを行います。



安心できる相談・連携の強化へ
地域連携室(相談スペース)が設置されたことで、患者さんのプライバシーを守り安心して相談ができる環境が整いました。そのため患者さんからの相談、関係機関や事業所の職員も気兼ねなく連携室に立ち寄り、相談をいただくなど、連携強化が図られました。



安心して暮らせる町を目指して

住み慣れた本別町で暮らし続けるためには、地域の皆さんが安心して医療を受ける体制が必要となります。そのためには、気兼ねなく国保病院にご相談いただき、不安の解消や必要な医療の提供、福祉サービス等の調整を行います。
今後も、ますます地域連携室が連携の要となり、地域、関係医療機関、福祉サービス事業者などと協力し、安心して暮らせるよう医療の提供に努めます。

お気軽にご相談ください
お問い合わせ
本別町国民健康保険病院
地域連携室
☎ 22-22025



去年の7月に着任してから、あっという間に1年が過ぎました。本別町で春夏秋冬を過ごしてみても、十勝での暮らしやすい気候を実感しています。具体的には、冬は非常に寒さが厳しいことに驚きましたが、道路は常にアスファルトが出ていくくらい積雪量が少なく、除雪などの心配がほとんどない状態なので、車の運転がしやすいと感じた事カラッと晴れて青空が現れる頻度が多いので、生活しやすい環境だと思いました。

地域おこし協力隊が行く



Part 9

観光PR活動を通して

一年間のこれまでの活動としては、本別町内外のイベントに参加して、主に特産品販売を通して本別町のPRをしてきました。また、本別町を知るために事業者、農家、団体や個人などを訪問し、仕事に対する思いなどのお話を伺ったり、ロケーションの良い場所やとっておきの魅力などを教えていただき、FaceBookで情報発信をしています。

現在は、本別町観光協会のFaceBookに表題を付け、「本別町自慢シリーズ」として人・スポット・本別公園情報・イベント紹介などの情報を引き続き発信しています。その他、本別町の郷土芸能「本別義経太鼓」保存会に参加し、町や近隣の町のイベントに出演させていただき、地域の方々とコミュニケーションを取りながら活動の幅を広げているところです。いい発見があります。最近では、5月に町の新入職員を対象に実施された「本別学」に同行し、

本別町の歴史を学ぶ機会を得て、本別開拓八翁や本別空襲、本別町特有の河岸段丘地形、水河期の遺存種であるマメシジミが現存している事、神居山や本別公園の多種におよぶ植物、先人の開拓精神を受け継いで今の時代に合った活動をしている前田農産食品の取り組みなど、多岐にわたる本別町の魅力に触れ、ますます興味が湧いてきました。観光協会のFaceBookを閲覧している人は現在約1000人いますが、その多くは町内の人です。いつもありがとうございます。今後は、東京本別会や札幌本別会の方々にフォロワーに情報を拡散していただきたいと思っています。ゆくゆくは、集め



「地域おこし協力隊」観光振興推進員の庄田ゆきえさんが、その取り組みや本別の暮らしについて紹介します。

た情報をシリーズごとにまとめ、小冊子にしてみたいと思っています。本別町の方々に町の魅力を教えていただくことと同時に、外から見た目線で見たい魅力、温故知新をモットーに新たな魅力を発掘すると共に、SNSを活用した情報発信を続けて行きます。そして町内外の地域おこし協力隊とも連携を取りながら、多くの人に本別町を知っていただき、足を運んでもらえるよう活動を続けていきたいと思っています。また、人気スポットである

本別公園の活性化に向けた取り組みや、豆を使った特産品なども考えていきたいと思っています。新しい元号「令和」になり、いろいろな変化に対応しつつ、これからも地域に貢献できるような活動をしていきますので、よろしくお願いします。※FaceBookで本別町観光協会を検索していただき、良かったらフォローをお願いします。そして本別町に関する魅力ある情報を、ぜひお聞かせください。



問い合わせ

企画振興課
商工観光・元氣まち担当
☎222-18121



校訓 真 剣

教育目標

力行 力いっぱい学ぶ生徒
方正 真面目に考え行動する生徒
錬磨 身も心も鍛える生徒

「ほんべつ学びの日」～4つの風の中で～
地域とともに歩み、地域の風が行き交う学校づくり

各学校の手作りページ

HELLO
本別中学校

入学式



花壇づくり



授業参観日



体育祭



全校生徒120人で令和元年度がスタートしました。生徒たちは、何事にも全力で取り組んでいます。保護者・地域の皆さまのご支援・ご協力をこれからもよろしくお願いします。

本別高校生が 全道大会出場

6 7

十勝の予選を突破し、北海道高等学校体育大会に出場する本別高校（近藤浩文校長）の陸上部員6人と弓道部員1人が6月7日、役場を訪れ高橋正夫町長へ出場報告をしました。選手らは、「悔いの残らないよう頑張ります」「全国大会に出場できるように頑張ります」などと抱負を語り、高橋町長は「体調に気をつけて頑張ってきてください」と激励しました。



大会では、全国大会出場は果たせなかったものの選手たちは、それぞれ健闘しました。

ラグーマン200人が熱戦

5 26

十勝クラシックラグーズ主催による第6回ラグビー祭が5月26日、太陽の丘多目的広場で開催されました。このイベントには、帯広、釧路、美幌などの小・中学生や社会人の約200人が参加しました。開会式で十勝クラシックラグーズ長澤秀行監督が「ラグビーを通じて楽しい一日を過ごしましょう」とあいさつ。最初にラグビースクール大会として、小・中学生の試合が行われ、ちびっこラグーマンたちは、監督や保護者の声援を受けながら、ボールを追いかけてボールを奪い合うなど、白熱した試合を展開しました。その他、帯広畜産大学と釧路教育大との試合も行われ、参加者たちは、ラグビーで交流を深めました。



居住支援の 取り組みを報告

6 7

令和元年度の本別町居住支援協議会総会が6月7日、総合ケアセンターで行われました。鹿島豊隆会長のあいさつに続き、事務局から前年度の空き屋対策や相談会などの事業報告や会計監査報告をし、全会一致で承認されました。続いて、新年度の事業計画として、新たに「きらめきタウンフェスティバル」での住まいの問題に関わる啓発イベントの開催や、本町の実態に合った空き家の利活用に係るモデル事業の検討・実施について説明しました。



鬼退治の豆を つくろうぜ

5 26

豆まかナイト実行委員会（佐藤隆史実行委員長）が主催する、豆まかナイト用大豆を栽培する「まく豆作ろうぜプロジェクト」が5月26日、東仙美里地区の畑で行われました。イベントには、町内の小・中学生や保護者、関係者など約80人が参加。JA本別町青年部の指導のもと、ベットボトルを使い等間隔の穴を開けながら、約600㎡の「鬼退治専用大豆育成地」と名づけた畑に種まきをしました。収穫は10月中旬を予定しており、来年の豆まかナイトで使用します。



きらめき講座開講

5 22

生活に彩りを添える「きらめき講座」（全7回）が5月22日、中央公民館で開講しました。1回目となる今回の講座では、香りを生活に取り入れる「アロマクラフト」作りに主婦など13人が参加。講師の荒谷智子さんから「アロマテラピーは心と身体をリラックスさせる効果がある」などと説明を受けた後、好きな香りを選んでリップクリームとボディクリーム作りに取り組みました。参加者からは、互いの作品の香りを確かめながら、楽しく講座を行いました。なお、この講座では10月にもアロマを使ったハーバリウム作りを行う予定です。



こども110番の家を スタンプラリー

5 19

本別警察署（中野浩一署長）と南4丁目自治会（前田豊作会長）が共催で「こども110番の家」を巡るスタンプラリーが5月19日、南4丁目で開催されました。こども110番の家は、子供たちが身の危険を感じたときなどに駆け込む避難所として、警察が通学路などの企業や一般家庭に呼びかけ登録しているものです。この日は、登録場所を覚えてもらう目的に開催。参加した児童や保護者など約15人が、同自治会で登録する22ヵ所を一軒ずつ訪問し、スタンプカードにはんを押してもらいました。終了後には、スタンプを集めた景品として文房具などを受け取り、児童らは大変喜んでいました。



バーベキューで交流

5 23

銀河サロン（運営委員会＝三井誠子委員長）花見交流会が5月23日、本別公園内義経の里休憩所ピープハウスで行われました。銀河サロンは、平成17年から活動をスタートさせ、当初から行っているこの花見会は今年で14回目を迎えます。初めに棚原千佳子副委員長が「楽しく食べて飲んで過ごしましょう」とあいさつ。参加した約30人は、おしゃべりに花を咲かせながら、炭火で肉や魚などを焼いて味わいながら、カラオケ大会で盛り上がりました。



本別クラブが全国大会出場

5 20

北海道の予選会で優勝し、8月1日～4日に奈良県で開催される第50回記念全国マサニバレーボール大会に出場を決めた、本別クラブ柏崎光子監督と笹森留美子キャプテンが5月20日、教育委員会を訪れ佐々木基裕教育長に予選会優勝と全国出場を報告しました。笹森さんは「8年越しでやっと優勝し、全国大会出場を手にすることができました」と報告。佐々木教育長は「全国大会でもベストを尽くし頑張ってください」と激励しました。



町中がたくさんの花でいっぱい

町内の自治会や各種団体などが5月下旬から6月中旬にかけて、町中にたくさんの花を植えました。華やかに彩られた街並みで、道行くドライバーや来町者、町民の皆さんの目を楽しませています。



5/30

市街地婦人会（橋本文子会長）の会員30人が、十勝東北部銀河の里づくり協議会などの補助を受け、道の駅「ステラ★ほんべつ」西側花壇にペコニア700株を植えました。



6/4

J A本別町女性部（細田友子部長）の部員ら約30人が、同青年部の協力のもと、本別大橋から本別高校までの通学路にマリーゴールドなど840株の花を植えました。



6/20

野田組（野田仁社長）の社員6人が6月20日、町体育館から歴史民俗資料館までの花壇にペコニアやサルビアなど600株の花を植えました。



新町

柏木町

南2丁目

南1丁目

5/31



仙美里元町

南3丁目

南4丁目

町自治会連合会（北谷和雄会長）主催の花いっぱい運動において、5月31日にサルビアやマリーゴールドなど5840株を配布し、国道242号線沿いや公共施設周辺などの花壇に植えられました。また、南4丁目自治会、仙美里元町自治会、共栄自治会の会員が、帯広開発建設部の提供を受け、サルビアなど4948株の花を植えました。



6/8

病院ボランティアおよび母子寡婦会の会員ら約30人が、6月8日、町国保病院前の花壇にペコニアなど450株を植えました。

昨年度の福祉事業の執行状況を報告

6/11

本年度第1回目となる本別町健康長寿のまちづくり会議（井出壬午会長）が6月11日、総合ケアセンターで開かれました。会議では、介護や保健、障がい者福祉など各分野の担当者が、平成30年度の事業執行状況について報告しました。出席した17人の委員からは、「高齢化率の上昇にともない、介護保険料の上昇の見込みは」との質問が出され、介護保険の担当者からは、「介護にならないための取り組みを推進し、保険料の上昇を抑えて行きたい」と説明しました。



日ごろの練習成果を披露

6/9

2年に1回の本別消防団（伊藤英昭団長）第1・2・3分団合同による消防連合演習が6月9日、利別川河川運動公園などで行われました。演習には、消防団員71人と消防車両7台が出動。団員らは、力強い号令を掛けながら、機械器具の点検や小隊訓練、一斉放水などきびきびとした動きで、日ごろの訓練の成果を披露しました。



たくさんのボランティアありがとうございます

弥生町自治会（吉井勝彦会長）の会員45人が5月26日、同自治会内の小・中・高校の通学路などのゴミ拾いを、本別町商工会女性部（新津直子部長）の部員6人が5月28日、本別公園内エゾムサキツツジ42株の植樹を、勇足元町子供会（吉田潤子育成部長）の会員14人が6月8日、同地区の国道沿いなどのゴミ拾いを、本別町商工会青年部（佐藤隆史部長）の部員12人が商工会の日の6月10日、商工会青年部全国一斉事業「絆・感謝運動」として町体育館内の中ホールなどのワックス掛けを、鹿島組（鹿島豊隆社長）の作業員8人が6月12日、環境整備として本別中央小学校敷地内および周辺の草刈り作業や樹木の剪定を、町老人クラブ連合会（小川健次会長）の会員17人が6月13日、総合ケアセンター裏庭の木の剪定作業やあいの里交流センター周辺の草取りを行いました。これは、地域貢献活動として実施されたもので、各所はきれいに整備されました。



5/26 弥生町自治会の皆さん



5/28 商工会女性部の皆さん



6/8 勇足子供会の皆さん



6/10 商工会青年部の皆さん



6/12 鹿島組の皆さん



6/13 老人クラブ連合会の皆さん

未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたぐさんの愛に包ま
れてすくすく元気に育ってね！



北
小
原
哲
斗
(彩佳ママ)



押
帯
小
川
修
司
(美沙樹ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

ニトリ北海道応援基金を 活用して苗木を植栽

町では、ニトリ北海道応援基金の助成を受けて、
4、5月に町有林造林事業を実施し、西美里別地
区の町有地4.46haに、カラマツの苗8,920本を植
栽しました。



ご寄付ありがとうございます 令和元年5月16日から6月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上にて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★中央公民館指定
タオル 20枚……市街地婦人会 会長 橋本文子
- ★老人ホーム指定
タオル 50枚……市街地婦人会 会長 橋本文子
タオル 150枚……役場婦人一同 代表 高橋照子
- ★本別消防署指定
ウエス 22枚……市街地婦人会 会長 橋本文子
タオル 100枚……柏木町 菅原信子

- ★本別中央小学校指定
タブレットパソコン 1台
……本別ライオンズクラブ 会長 岡崎 勉
- ★勇足小学校指定
体育用マット 1枚
……本別ライオンズクラブ 会長 岡崎 勉
- ★仙美里小学校指定
ロイター板 1台
……本別ライオンズクラブ 会長 岡崎 勉

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
計 金 3,270,000円 ……224人

みんなの 健康

419

十勝らしい日差しの中、いかがが
過ごでしょうか？草木も青々と茂
り、活動的な季節となりました。
ここで「運動を始めませんか？
運動のヒントを説明します。」

運動には2種類あります。①一つ
は有酸素運動、②もう一つはそう
ではない運動
(レジスタ
ンス運動)

です。①有酸素運動とは、人の重心
が移動する運動です。マラソンや水
中歩行などです。これにより、いわ
ゆる油の利用が促進して行きます。
糖尿病やコレステロールの代謝活性
に役立ちます。そして、これには2
つほど条件があります。人は運動の
始めは糖を使用します。そして、徐々
に油が使われるようになります。この代謝
の切り替わりは、運動を開始して約15
分とされています。長いですが、
でも、心配なく。最近の研究によ
り、必ずしも連続しなくても良いと
言われています。1日の起きている
時間の中で、途切れ途切れの15分

先ずはやってみよう

良いのです。関節の弱い人は、無理
のない範囲で少しずつ始めましょう。
そして、2つ目の条件ですが、軽く
汗をかくことです。始めから条件を
満たすような運動はけがの元なので、
ゆっくりと「先ずはやってみよう」
精神でお願いします。
では、②レジスタンス運動とは？
これは、人の重心があまり移動しな
い荷物の上げ下ろしなどの運動です。
汗をかきやすから運動をしたことに
上がついていません。むしろ、糖の代
謝が優先していることが多いです。
一方、レジスタンス運動は、認知症
の悪化予防になり、時に改善するこ
とが分つて
います。例
としては、
パワーリハビリがあります。筋トレ
のようにリハビリをすることにより、
自立する確率が増加します。
普段の生活で自分はどう寄りな
のか、足りない部分を補えるよう
にしましょう。そして、代謝は食事と
運動もさることながら、水分摂取と
快眠にも気を付けましょう。



本別町国保病院
内科医長
草野 学

銀河ホップ・ステップ・ジャンプ

足寄町

全国一斉国立公園清掃デー

フリンア寒

オンネット地区清掃活動

阿寒摩周国立公園の「フリンア寒」事業に参加して、オンネット地区の清掃を行います。清掃活動をしながらか自然観察や森林浴を楽しめます。

陸別町

第11回ふるさと銀河線
りくへつ鉄道まつり

前夜祭の20日(土)は花火大会も開催！年に一度の特別な花火列車も運行します。21日(日)の本祭では、特別列車の運行に合わせた「アイスショー」や「ばれ君のふわふわドーム」豪華賞品が当たる大抽選会など、子どもから大人まで楽しめる多彩なイベントを開催しますので、ぜひご来場ください。

口とき 7月20日(土)
21日(日)

口とき 8月4日(日)
口移動 午前8時にあじろ銀河
ホー121北側駐車場を出
発します
口内容 清掃活動、自然観察、森
林浴
口参加料 無料
口問い合わせ あじろ銀河観光協会
2516131

口とき 20日…緑町サッカー場
21日…りくへつ鉄道橋内、
駅前多目的広場
口主な内容
20日(土)
午後8時…花火大会
21日(日)
午後0時5分…リコーダー
ミニコンサート
午後1時45分…大道芸ステージショー
午後2時30分…お笑いステージショー
(インボッシュブル・
鬼越トマホーク)
午後3時…大抽選会、もちまき
口問い合わせ 陸別町観光協会事務局
(陸別町役場産業振興課内)
2712141 内線135



戸籍のまど

お誕生

5月後半から
6月前半の
届出分今野 碧海^{あおと} 直樹^{なち} 5/13 上押帯丸山 里桜^{りおう} 勇太^{ゆうた} 5/21 勇足元町福家 礼堂^{れいどう} 賢和^{けんわ} 5/23 朝日町木村 凛人^{りん} 皓大^{こうだい} 5/23 北6丁目

おくやみ

眼目 サワ^{さわ} 91歳 5/21 南4丁目若木 百合子^{ゆかり} 94歳 5/21 美蘭別伊藤 雄樹^{ゆうき} 35歳 5/31 拓 農本のある
暮らし

220

ぶつくるの読み聞かせ
7月から
始まります!

毎月第4金曜日に図書館で行ってきた赤ちゃんから対象の読み聞かせ「どうわかん」。7月からリニューアルし、ボランティアぶつくるによる「おはなしぶつくる一む」として、スタートすることになりました。

お子さんはもちろん、パパ・ママ・おじいちゃん・おばあちゃん、これから赤ちゃんを迎えるご家族も、ぜひどうぞ! ことばと心を豊かにしてくれる絵本やお話を、楽しくシェアしましょう。

おはなしぶつくる一む

◆とき 毎月第3土曜日(図書館休館日はお休み)
午前11時から(30分間程度)
第1回は7月20日(土)です

◆ところ 図書館1階読み聞かせコーナー

- ♥どなたでもお越しください(申し込み不要)
- ♥幼児から小学校低学年向けの絵本を中心に紹介します
- ♥参加者カードを発行します。スタンプを集めて、プレゼントをもらいましょう!



赤ちゃん連れでも安心

図書館では、赤ちゃんも一人の利用者として大切にします。下記の用意がありますので、赤ちゃんと一緒にどうぞご利用ください。

- ★知育布おもちゃ、布絵本
- ★館内用ベビーカー
- ★1階女性用トイレにベビーチェア・おむつ交換台・着替え用ボード、男性用・女性用両方に幼児用便座
- ★読み聞かせコーナーに授乳室



布おもちゃと布絵本

わたしたちのまち

前月比

人口 6,983人(-1)

男 3,424人(+5)

女 3,559人(-6)

世帯数 3,656戸(-7)

〔5月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一む)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112